

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口から徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅」東口からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタ サイエンスドーム (八王子子ども科学館)	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ②京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	福生市郷土資料室	福生市役所、旧ヤマジウ田村家住宅ともに JR 青梅線「福生駅」西口から徒歩約 7 分 プチギャラリーは JR 青梅線「福生駅」徒歩 0 分
9	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
10	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上台北駅」から武蔵村山市内循環バス「かたくりの湯」下車徒歩 1 分分館：西武 拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
11	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車徒歩 20 分
12	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
13	日野市立新選組のふるさと歴史館	① JR 中央線「日野駅」から京王バス高幡不動駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分 ②京王線・ 多摩都市モノレール「高幡不動駅」から京王バス日野駅行き「日野七小入口」下車徒歩 5 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多 摩センター駅」から京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営 バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
18	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②西武新宿線「久米川駅」 北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分 (いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分、JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行または 「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館」下車すぐ
20	たましん歴史・美術館	たましん歴史・美術館：JR 中央線「国立駅」南口前/たましん美術館：JR 中央線「立川駅」北口より徒歩約 6 分
21	パルテノン多摩	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立自由民権資料館	①小田急線「鶴川駅」5 番バス乗り場から「野津田車庫」行きまたは本町田經由「町田駅」 行きで「綾部入口」下車 ②小田急線・JR 横浜線「町田駅」21 番バス乗り場から本町田經由「野津田車庫」行きまたは「鶴 川駅」行きで「袋橋」下車
24	町田市民文学館ことばらんど	①小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分 ② JR 横浜線「町田駅」ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分岡町原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小平市鈴木遺跡資料館	①西武新宿線「小平駅」南口から西武バス武蔵小金井駅行き、もしくは JR 中央線「武蔵小 金井駅」から西武バス小平駅南口行き「回田本通り」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線「花小金 井駅」から立川バス「国分寺駅北口」行き「共済住宅」下車徒歩 10 分
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金 井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 中央線「武蔵小金井駅」北口バス 2 番 3 番停留所からバス「小金井公園西口」下車徒 歩 5 分②西武新宿線「花小金井駅」南口より徒歩 5 分「南花小金井」(小金井街道沿い) 停 留所から「武蔵小金井駅」行きバス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」nonowa 口から徒歩 7 分
30	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口から徒歩 10 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番 から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口から徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」 からはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① JR 中央線「三鷹駅」南口または「武蔵境駅」南口から小田急バス「国際基督教大学」行 きにて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」から徒歩 12 分 ② JR 中央線「武蔵境駅」北口からム ーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム	JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口から徒歩 2 分
36	狛江市立古民家園 (愛称:むいから民家園)	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」から徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口から「多摩川住宅」 行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

催し物案内2022年度冬号

2022年12月～2023年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。

「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。

多摩地域の博物館をめぐってみませんか！

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。

32 調布市郷土博物館 原始古代から現代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、12.29～1.3、館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	---------------------------------	-----	----	---	--------------

●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」（1.11～5.7） わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。
 ※感染症拡大予防のため、マスク着用、手指消毒、入館票記載にご協力をお願いいたします。なお、当面の間人数制限を設けて開館しています。最新の入館条件等については、ホームページ・ツイッターでお知らせいたします。
 【URL】 <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html> 【Twitter】 https://twitter.com/chofu_museum

33 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
 初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	13:00～17:00 （右記のとおり限定開館）	休館日	1.10～3.2の毎週火・水・木曜以外休館（11.11～1.9と3.3～4.10は展示替えと年末年始のため休館、2/23は祝日のため休館）	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	-----------------------------	-----	---	-----	----	---	--------------

●特別展「日本のうらしエ芸」（1.10～3.2） 上記のとおり限定開館（要予約）。
 ●第117回公開講座「漆器のたのしみ」（1.28）※視聴無料・要予約・Zoom ウェビナーにて開催
 日本をはじめとする東アジアおよび東南アジアの漆工芸を研究し、数々の展覧会を企画・開催している永島明子氏（京都国立博物館研究員、京都大学准教授）による講演会。
 ●ランチタイムトーク「私とICU」（2.14）※Zoom ミーティングにて開催
 本学教授陣をゲストスピーカーに迎え、往時の思い出を聞く第五弾。
 【URL】 https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/
 【Twitter】 https://twitter.com/ICU_museum 【YouTube】 <https://www.youtube.com/channel/UCg4-j0CyCngzMGkfHbKdJg/>

34 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館
 武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜日、祝日、年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	-------------	-----	----	---	--------------

●企画展「江戸氏牛込氏文書—中世史研究のまなざし—」（10.8～12.28）
 東京都指定有形文化財である江戸氏牛込氏文書について紹介します。
 ●特集展示「生誕160周年むさしのばやし」（12.3～2.9）
 市指定無形民俗文化財「むさしのばやし」の生誕160周年を記念した展示。演奏の映像や、衣装、小道具、楽器等を展示します。
 ●企画展 学校教育連携展示「武蔵野のくらしはこぶ・はかる・のこすー」（1.14～4.20）
 国立公文書館と連携し、鉄道敷設による市域の変化や、道具・くらしのうつりかわりを公文書の中から探ります。
 ●特集展示「震災と歴史公文書～関東大震災100年」（2.19～4.13）
 令和5年（2023）は関東大震災から100年を迎えます。歴史公文書の中に残されている震災の記録をご紹介します。
 【URL】 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

35 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム
 本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。

開館時間	10:30～17:00（入館・物販は16:30まで）	休館日	日・月曜日、祝日、年末年始、大学の定める休日（告知ない変更・臨時休館あり）	入館料	無料	☎	0422-31-4151
------	----------------------------	-----	---------------------------------------	-----	----	---	--------------

耐震工事を終え、10月から見学の受付を再開しました。見学にはご予約が必要です。詳細は下記ホームページをご覧ください。
 ●常設展示 歴史系展示室では大学史の紹介を、自然系展示室では野生動物の剥製や骨格標本の展示を行っています。
 ●企画展示「2022年度企画展 獣医学教育用掛図展～獣医解剖学の系譜と本学の教育～」(10.2～)
 当館が所蔵する「日獣大獣医学教育用掛図コレクション」の中から、修復が完了した5点の掛図を展示し、掛図の歴史やコレクションの概要、当館が行った掛図の調査・修復事業について解説しています。
 ●ミニ展示 博物館の活動や収蔵資料などのテーマに応じたミニ展示を実施しています。
 【URL】 <https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/>（大学公式サイト内博物館ページ）

36 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園）
 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（休日にあたるときはその翌開園日）、年末年始（12.28～1.4）	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--------------------------------------	-----	----	---	--------------

●旧荒井家住宅主屋の茅葺屋根の葺き替え工事（3月初旬まで）※期間中、教室・講座・年中行事の展示等はお休み
 主屋内部や園庭の大部分は立ち入れませんが、園内の長屋門は見学できます。また、フェンス越しに工事の様子も見学できます。工事の進捗状況は、下記公式Twitterでお知らせします。なお、工事の解説・見学会も行う予定です。
 また、葺き替え工事に充てるため、クラウドファンディングを実施しています（～2.12）。
 詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページ、公式Twitterをご覧ください。
 【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,html> 【Twitter】 @komae_muikara

27 小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。

開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(10月)、年末年始(12.29～1.3)	入館料	無料	☎	042-383-1198
------	------------	-----	---	-----	----	---	--------------

当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。

- 企画展「梶家の絵図」(～12.28) 小金井地域の旧家(梶家)が所蔵する資料群の一部を公開します。特に、享和期をはじめ資料調査で見つかった小金井村や野川に関する様々な絵図は当時の様子を知る貴重なもので、本企画展で初のお目見えとなります。
- 季節展「名勝小金井桜」(3月下旬～) 桜の花期に合わせた企画展。玉川上水堤の桜並木「名勝小金井(サクラ)」の歴史を錦絵や古写真で紹介。
- ほか、武蔵小金井まちかど歴史ミュージアム(小金井市本町6-2-30)を実施中。

【URL】 <https://www.city.koganei.lg.jp/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html>

28 江戸東京たてもの園 都内の歴史的建造物を移築、復元・保存・展示し、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。

開園時間	4～9月:9:30～17:30 10～3月:9:30～16:30 (入園は開園の30分前まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.25～1.1) ※3.20・27は臨時開園	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎	042-388-3300
------	---	-----	--	-----	---	---	--------------

- 展示室(特別展)「江戸東京博物館コレクション展—東京の歩んだ道」(6.25～2.12)「日本のタイル100年—美と用のあゆみ」(3.11～8.20)
- 冬の催し「たてもの園でお正月」(1.2・3)「成人の日はたてもの園へ」(1.9)「たてもの園フェスティバル」(3.27・28)「綱島家年中行事」大根干し(11月最終週～12月中旬)、小正月繭玉飾り(1.11～15)、節分(2.3)
- 定例の催し ミュージアムトーク(12.24、1.28、2.25、3.27)
伝統工芸の実演(12.10・11 練馬区、1.14・15 大田区、2.11・12 板橋区、3.11・12 中野区)

※ご来園の際は、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。 【URL】 <https://www.tatemonoen.jp/>

29 東京農工大学科学博物館 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。

開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日・月曜日、祝日、5.31(創立記念日)、年末年始等(12.27～1.3)	入館料	無料	☎	042-388-7163
------	-------------------------	-----	---------------------------------------	-----	----	---	--------------

- 企画展「立体で診る～動物医療と先端技術～」(11.11～5.30) 最新の3D技術で動物たちの医療はどのように変わったのだろうか?本企画展では実際の診断画像や標本を通して、3次元技術がもたらした様々な獣医学の発展や東京農工大学での取り組みをご紹介します。
- ※都合により休館日が変更される可能性があります。詳細はHP、Twitterでご確認ください。
- WEB企画展「勤工寮葵町製糸場図面3D復元プロジェクト」を実施中です。展示模型の中を歩くような疑似体験や、図面を建物の実寸に合わせて設置するなど、従来の博物館展示では表現できなかった展示表現に挑戦しています(clusterアプリのダウンロードが必要です)。
- SNSでの情報発信や、360度デジタルビューの公開などをおこなっています。 【URL】 <http://www.tuat-museum.org/>

30 清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-493-8585
------	------------	-----	-------------------------	-----	----	---	--------------

- 特別展「歩く、描く 谷口ジロー」(1.21～3.19)
- 特別展開連イベント 記念講演会(2.12) 文化財散歩特別編(2.18、3.4)
- テーマ展示「清瀬の麦～水車稼ぎと食文化～/受け継がれし清戸獅子」(～12.28)
- 年中行事 まゆ玉飾り(1.14) 節分の豆まきとやっかがし(1.29)
- 年中行事展示 桃の節句(2月中旬～3月中旬)
- 事業 うちおり常設展示記念講演会(12.3) ミュージアムシアター(12.10、3.25)
- 先人の知恵に学ぶシリーズ しめ縄作り(12.4) 春の染物教室(3.22)

ほか、歴史講座や文化財散歩など随時開催中。詳細は館ホームページへ。 【URL】 <http://www.museum-kiyose.jp/>

31 多摩六都科学館 世界最大級のプラネタリウムドームと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12.28～1.3)、その他機器整備の休館あり(1.24～26)	入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100
------	------------------------	-----	---	-----	--	---	--------------

- 冬の特別イベント「ロクトロボットパーク」(12.24～1.9) きみも動かせるロボット大集合!あそぶ、つくる、考える、ホビーロボットと楽しくふれあって、ものづくりと技術の世界をのぞいてみよう!
- 春の特別企画展「昆虫細密画の世界～中西章作品展～」(3.25～5.7)
写真よりも精細に昆虫の姿を描き出す昆虫細密画。図鑑や子ども向け絵本に数多くの昆虫の絵を描いてきた昆虫イラストレーター・中西章氏の作品を通して、昆虫たちの表情や生態を紹介します。
- 生解説プラネタリウム「全天88星座—光が語る天球の地図—」(～1.29)
- 大型映像「水の惑星 星の旅シリーズ」(終了日未定)

【URL】 <https://www.tamarokuto.or.jp>

1	奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日）、 12.28～1.4	入館料	無料	☎ 0428-86-2731
奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業などを展示や映像などで分かりやすく紹介している。 ※感染症蔓延防止のため、マスク着用・アルコールでの手指消毒が必須です。発熱等風邪症状のある方の入館はお断りしております。 ●めん羊の手紬実演（12.3・4） ●日原白箸作り体験（2月上旬） ●川野の車人形の上演（3月中旬）						
						【URL】 http://www.okutama.gr.jp/

2	檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。					
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始	入館料	無料	☎ 042-598-0880
●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。 ●特別展「檜原村の野鳥写真展」（2.2～3.5） 檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。 【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html						

3	青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 0428-23-6859
●「新収蔵品展 2022」（1.21～4.2） 令和3年度に寄贈を受けた「入会地論争裁許地図」や「都指定下師岡名主吉野家文書」などの新収蔵品を中心に紹介します。 ※感染症の動向により会期変更や臨時休館する場合がありますので、最新情報は館ホームページ・お電話でご確認ください。 【URL】 https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/						

4	あきる野市五日市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法草案関係の資料を展示。					
開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 年末年始（12.27～1.4）	入館料	無料	☎ 042-596-4069
●常設展示 歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。 ●年中行事（旧市倉家住宅） 五月飾り（12～1月）、まゆ玉飾り（1月）、雛人形（2～3月） 【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html						

5	羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00（旧下田家住宅は9:00～16:00）	休館日	月曜日（祝日の場合は開館） 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-558-2561
●企画展「むかしのくらし」（1.4～22）「ひな人形展」（2.4～3.5）「東京の空襲資料展」（3月上旬） ●季節かざり「お正月かざり」（1.4～9）「まゆ玉かざり」（1.9～15） ●体験学習会「まゆ玉かざりをつくろう！」（1.8） 【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html						

6	コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館） プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。					
開館時間	10:00～17:00（ただし水～金曜 9:00～12:00は事前予約団体専用）	休館日	月・火曜日、祝日の翌日、年末年始など（春・夏・冬休み期間は無休） 12月：土曜日臨時休館（ワクチン接種会場になるため）	入館料	大人200円、4歳～中学生100円（プラネタリウム料金別、セット割引有り）	☎ 042-624-3311
●プラネタリウムでは「クレヨンしんちゃん～宇宙からの来訪者」、「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふるる夜に」、「かいけつゾロリ～宇宙たんけん大さくせん」（～12.28）、「しまじろうとおつきさまのひみつ」（～1.9）、「ヤドカリくん、ほしをみに」（1.15～）を投影。 「生解説プラネタリウム 星空散歩」季節の星座や天文現象を解説（第二日曜）。 「全編生解説プラネタリウム」12月のテーマは「火星接近」、1月からは新テーマ「歴史に語り継がれた星の記録」（第四日曜）。 「トワイライトプラネタリウム」日曜日の夕方に投影「はじめての星の王子さま」12.11午後6時（1月から新番組、土曜日投影）。 「星空CDコンサート」（12.18）「クリスマス特集」（HPから申込、予約制） ●土日祝、春休み、夏休みには親子で楽しめる「 工作教室 」などを開催（当日先着順またはHPから申込の予約制）。 【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html						

7	桑都日本遺産センター 八王子博物館 日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。						
	開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎

桑都日本遺産センター 八王子博物館（愛称・はちはく）では、都内で唯一の「日本遺産」に認定されたストーリー、「霊気満山高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」を紹介しています。桑都と呼ばれる八王子の魅力にあふれる、市内各地の文化財へあなたを誘います。

- 企画展「はちはくでお正月～八王子七福神めぐり～」(12.17～1.22)
福を運んでくれる恵比寿・大黒天の像や掛軸、だるま、お正月遊びの定番の双六など、おめでたいものを展示します。「八王子七福神めぐり」の神様とお寺も紹介します。
- 新収蔵資料展「未来への贈り物～令和3年度寄贈資料展～」(1.28～3.27)
市民のみなさんから寄贈される資料は、八王子の歴史文化を未来へつなげるための宝物です。令和3年度に寄贈された火縄銃や戦前織物工場で使われていた自転車などを展示・公開します。
- 紙芝居の上演会
ガイドボランティアが制作した紙芝居を上演します。
「日光と千人同心」(12.25)、「松姫ものがたり」(1.29)、「八王子空襲」(2.26)、「松姫ものがたり」(3.26)

【URL】 <https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html>

8	福生市郷土資料室 福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。 ※空調設備等改修工事のため令和5年12月まで休館します。						
	開館時間	-	休館日	空調設備等改修工事のため休館中	入館料	無料	☎

休館中は、福生市役所や旧ヤマジウ田村家住宅等で出張展示を行います。

- 市役所出張展示 ※市役所開庁時間に見学できます。
・「ミキノクチ展」(11.21～2.4) 福生市内で現在も制作されているお正月飾りの「ミキノクチ」を紹介する展示を行います。
・「バードカービング展」(仮)(2.6～4.15) 福生市郷土資料室で所蔵する、鳥の姿を正確に再現した木彫模型であるバードカービングの展示を行います。
- 旧ヤマジウ田村家住宅主屋季節展示 ※月曜休館、10:00～16:00 開館
・「くらしのうつりかわりと暖をとる道具展」(1.21～3.21)
小学生の学習単元に合わせ、道具の変遷を伝える道具と、冬の暮らしを伝える道具の展示を行います。
・「ひな飾り」(2.4～3.21) 桃の節句に合わせ、旧ヤマジウ田村家住宅に受け継がれてきたひな飾りを期間限定で展示します。
※このほか、旧ヤマジウ田村家住宅ギャラリーでは、窪田成司氏による記憶画の展示を季節ごとに入れ替えて行っています。
- プチギャラリー出張展示 ※会期中無休、10:00～19:00
・「福生思い出写真館～懐かしい思い出を語り合おう～」(2.7～12)
福生での風景を写した懐かしい写真の展示を行い、同時に写真を通して思い出される皆さんの思い出を共有する展示を行います。

【URL】 <https://www.museum.fussa.tokyo.jp>

9	瑞穂町郷土資料館（けやき館） 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
	開館時間	10:00～21:00 1.4より9:00～17:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることがあります）	☎

- 企画展「ヨコタ・オブペースエリア-米軍ハウスの物語-」(12.17～1.22)
町内のむさし野地区には、かつて米軍ハウスが建ち並ぶ一角がありました。アメリカのライフスタイルに憧れた日本の若者、若手のアーティストたちが移り住むようになり、新たな文化を創造するゆりかごとになりました。写真や資料などを通じて当時の様子を振り返るとともに、老朽化の進む現在のハウスを将来へ受け渡す取り組みなどを紹介します。
- 企画展「ひなまつり展 2023」(2.4～3.5) 瑞穂町や周辺に伝わるひな人形やひなまつりにまつわる習慣などを紹介します。

【URL】 <https://mizuhokyodo.jp>

10	武蔵村山市立歴史民俗資料館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。 分館 武蔵村山の戦争資料をもとに、戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。						
	開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎

- 常設展 資料館「丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～」、分館「戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山」
- 特別展「流行り病と武蔵村山」(～3.5) 流行り病の歴史を顧みると、人々は長い間、細菌またはウイルスと戦い、如何に共存してきたかということが示されており、武蔵村山市も例外ではありません。市域での「流行り病」に関する歴史や資料を紹介しています。
- ミニ年中行事展「正月飾り-縁起物-」(12.17～1.15) ●年中行事展「桃の節供（仮）」(2.4～3.5)
- 企画展「狭山丘陵の自然と暮らし（仮）」(3.11～4.16)
- 文化財見学会「武蔵村山の戦争遺跡を歩く」(3.4 予定) 市南東地域の戦争遺跡を巡ります。
- 自然観察会「狭山丘陵の自然（仮）」(3.18 予定)

【URL】 <http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html>

22 東京都立埋蔵文化財調査センター 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。

開館時間	9:30～17:00 (11～2月は遺跡庭園のみ16:30まで)	休館日	年末年始(12.29～1.3)、臨時休館(10.28、11.25、1.31)、展示替え(3月上旬～中旬)	入館料	無料	☎	042-373-5296
------	----------------------------------	-----	--	-----	----	---	--------------

●企画展示「境・道・恵—多摩丘陵の3つの顔—」(3.19～3.9)
 ●年中行事 映像上映会②(12.17)、学芸員ギャラリートーク大昔の多摩を語る③(1.21)、文化財講演会(考古学全般)(1.21)、文化財講演会(企画展示関連③)(2.4)、遺跡発掘調査発表会2022(3.21)、企画展示解説会(3.25)
 ※申込方法、締切など詳細はホームページをご覧ください。
 【URL】<https://www.tef.or.jp/maibun/> 【Twitter】https://twitter.com/tokyo_maibun

23 町田市立自由民権資料館 多摩地域・武相地域の自由民権運動と町田の歴史を紹介。

開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料	☎	042-734-4508
------	------------	-----	-------------------------------	-----	----	---	--------------

●通史展「町田の歴史—時代でたどる人びとのくらし—」(2.1～常設)
 町田市には3万年にわたる歴史があり、過去における人々のくらしを今に伝える土器、古文書、民具などの歴史資料を大切に守ってきました。本展では、町田市域の歴史を時代に沿って、「暮らし」をキーワードにホンモノの資料を通してご紹介します。
 【URL】https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul03/index.html
 【Twitter】https://twitter.com/machida_minken

24 町田市民文学館ことばらんど 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介

開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)、年末年始(12.29～1.4)	入館料	無料(秋の企画展は有料)	☎	042-739-3420
------	-------------	-----	---	-----	--------------	---	--------------

●秋の企画展「浅野いにお展—the personality of the city」(10.22～12.25) 【観覧料：一般600円/大・高・中学生300円】
 「ソラニン」や「おやすみプンプン」などで若い世代に人気の漫画家・浅野いにおの作品世界を紹介する展覧会。登場人物と作品舞台との関係性から作品をひもときます。
 ●詩画家・森田MiWの絵とことば「いとしきモノ展」(1.21～3.19)
 「本」という形にとらわれずに「ことば」の発信を行う詩画家・森田MiWの初めての大規模企画展。本展のために書き下ろした『詩画集 いとしきモノ』の物語世界を紹介します。ノスタルジックで不思議な魅力を持つ作品世界をお楽しみください。
 【URL】https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html
 【Twitter】https://twitter.com/machida_kotoba

25 府中市郷土の森博物館 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。

開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	12月：月・火曜日、29～31 1月：1～3、9をのぞく月・火曜日 3月：13・14・20・27	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料 ※プラネタリウムは別途観覧料が必要	☎	042-368-7921
------	-------------------------	-----	--	-----	--	---	--------------

●特別展「多摩川のアユみ」(2.4～3.12) 歴史・民俗・自然の3分野から、多摩川のアユについて探ります。
 ●企画展「ちょっとむかしのくらし その5」(～3.19) 今ではあまり見なくなりましたが、ちょっとむかしには普通に使われていた生活道具を紹介し、くらしの移り変わりをたどります。
 ●プラネタリウム冬番組(～3.12) オリジナル新番組「星空ヒストリア～日本の星座～」では、歴史書や遺跡などから日本の星座の歴史をたどります。このほか3番組を放映。
 ●梅まつり(2.4～3.12) ピンク・赤・白の美しい花とやさしい香りに園内が包まれます。期間限定で梅園ライトアップも予定。
 【URL】<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html> 【Twitter】https://twitter.com/kyodo_no_mori

26 小平市鈴木遺跡資料館 日本を代表する旧石器時代遺跡である国史跡「鈴木遺跡」から出土した貴重な旧石器を展示・公開しています。

開館時間	10:00～16:00	休館日	月・火・木・金曜日、年末年始(12.27～1.5)	入館料	無料	☎	042-323-2233
------	-------------	-----	---------------------------	-----	----	---	--------------

●常設展示 国史跡「鈴木遺跡」は、都内最大規模の旧石器時代遺跡です。出土した旧石器の分析の結果、約2万2千年間にも及ぶ日本の後期旧石器時代初めから終末まで12の文化層の石器群が存在することが判明し、日本旧石器時代の移り変わりを明らかにしたことで名高い遺跡です。常設展示では、各文化層ごとの石器群を古い方から年代順に並べて展示しています。また、数多く出土した黒曜石も時期と産地ごとに一目でわかるようまとめて展示しています。
 ●(仮称)令和4年度「鈴木遺跡の今、そして未来」パネル展(2月後半～3月のうち1週間程度)
 国史跡鈴木遺跡は、遺跡保存区を史跡整備して一般公開する事業を進めています。その中の一つ鈴木遺跡保存管理等用地は、鈴木遺跡の中心に位置する約14,000㎡の面積をほこる最大の遺跡保存区です。この保存区を旧石器時代の当時の景観や生活の様子を体験できる空間として整備することを計画しています。本展では、本事業の進捗状況について、令和4年度の実施内容と今後の見通しを、パネル展示と学芸員の説明で報告します。
 【URL】<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/001/001374.html>

11	立川市歴史民俗資料館					
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）、 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<p>●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。</p> <p>●企画展「多摩川と立川-利水と災害-」（10.25～12.11）立川市の南端を流れる多摩川は水の恵みをもたらすとともに災害を引き起こしてきました。その歴史を振り返ります。</p> <p>●写真展「なつかしの立川-古写真からみる街の風景-」（12.6～2.12）年明けに始まる企画展「暮らす-むかしの道具たち-」に先行して、立川の昔なつかしい風景を写真で紹介しします。</p> <p>●企画展「暮らす-むかしの道具たち-」（1.17～2.19）人々がむかし使用していた暮らしの道具を展示します。</p> <p>●ミニ企画展「桃の節句」（1.31～3.5）市民のみなさまから寄贈されたひな人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</p> <p>【URL】http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</p>						

12	日野市郷土資料館					
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 12.25 臨時休館、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<p>●企画展「ひのっ子くらし展～文集からみた昭和の子ども環境～」(12.10～3.26)</p> <p>※そのほか廊下でパネル展を開催します。詳細は館HPでご確認ください。 【URL】http://hino-museum.jp</p>						

13	日野市立新選組のふるさと歴史館					
	土方歳三・井上源三郎の故郷日野で新選組、幕末維新、甲州道中などに関する展示を行っています。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）、 12.29～1.3	入館料	大人200円、小・中学生50円	☎ 042-583-5100
<p>●企画展「新徴組と新選組の兄弟～浪士組で上洛した沖田林太郎と総司～」(12.20～2.19)</p> <p>●第16回 新選組書展 (3.1～3.31)</p> <p>※詳細は館HPでご確認ください。 【URL】http://www.shinsenr.jp 【Twitter】@shinsenr</p>						

14	東京都立大学 91 年館					
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。					
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・ 春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料	☎ 042-677-1111 内線 2041
<p>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。東京都立大学の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。</p> <p>※感染症拡大防止のため、現在、学内者限定開室としております。</p>						

15	帝京大学総合博物館					
	帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。					
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	日曜日、祝日、創立記念日、臨時 休館日	入館料	無料	☎ 042-678-3675
<p>●企画展 ザ・公衆衛生！-社会と個人の健康を守る黒衣たち-（10.7～2.25） 私たちの暮らしを縁の下で支える「公衆衛生」について、その歴史や本学公衆衛生学研究科の実践を紹介しします。 第1章 公衆衛生の歴史 第2章 新型コロナウイルスと公衆衛生 第3章 帝京大学大学院公衆衛生学研究科（帝京SPH）の学びと実践。</p> <p>【URL】http://teikyo.jp/museum/</p>						

16	東大和市立郷土博物館					
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。 プラネタリウムクリエイター大平貴之氏の投影機メガスターが評判。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、 祝日の翌日	入館料	無料 （プラネタリウムは有料）	☎ 042-567-4800
<p>●プラネタリウム冬番組（12.10～3.12）/ プラネタリウム春番組（3.18～）</p> <p>●企画展示「アナログとデジタル」（3.25～）</p> <p>●その他各種講座を随時開催</p> <p>●旧日立航空機株式会社変電所一般公開（毎週水・日曜日）10時30分～16時</p> <p>【URL】http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html</p>						

17	東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。					
開館時間	9:30～17:00 (入館は16:30まで) ※八国山たいけんの里も同	休館日	月・火曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)、年末年始(12.29～1.4) ※八国山は1.4～開館	入館料	無料 ※八国山たいけんの里も同	☎ 042-396-3800 042-390-2161
<p>●小学校社会科見学対応展示「むかしの暮らしと道具」(1.12～3.5) 小学3年生の社会科見学に対応して、「電気・ガス・水道のないころの暮らし」「高度経済成長期のころの暮らし」に関する道具類などを展示します。会期中の午前中は、小学生が団体で見学している旨、ご了承ください。</p> <p>●東村山考古学講演会「縄文遺跡を探る！護る！活かす！」(1.29、2.26、3.25) 多摩地域北部にある国および東京都指定史跡の、調査研究に基づいた保存と活用について講演会を開催します。第1回「西東京市下野谷遺跡」、第2回「調布市下布田遺跡」、第3回「東村山市下宅部遺跡」。 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/ ※八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</p>						

18	国立ハンセン病資料館 ハンセン病問題に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。					
開館時間	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎ 042-396-2909
<p>●「ハンセン病と人権」セミナー(1.29) ハンセン病病歴者を家族にもちハンセン病家族訴訟の原告に名を連ねた3名の方と、それらの方々との交流を通してハンセン病問題の学習に取り組んでいる高校生とのトークセッションを実施します。会場参加(定員50名、抽選、会場は国立ハンセン病資料館)とオンライン参加(定員400名、先着順)の二通りの参加方法があります。</p> <p>●企画展「ハンセン病文学の新生面『いのちの芽』の詩人たち」(2.4～5.7) 大江満雄編『いのちの芽』(三一書房、1953年)は、全国8つのハンセン病療養所から73人が参加する、初めての合同詩集でした。今年は詩集刊行から70年目にあたります。隔離政策の不条理に直面しながらも外部社会に向けて希望・連帯・再生を希求する戦後の新たな文学の姿を、本展では「ハンセン病文学の新生面」として紹介します。関連イベントとして、担当学芸員によるギャラリートーク、講演会、音楽会、朗読会を開催します。 ※イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。 【URL】http://www.nhdm.jp/</p>						

19	くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。					
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2・4木曜日(祝日の場合は翌日)、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-576-0211
<p>●民具案内関連企画展「むかしのくらし展」(1.13～3.13) 明治時代から昭和にかけての明かりや暖房、洗濯の道具など、時代と共に変化してきた生活の道具を展示します。コーナー展では、ふだんの食事から特別な日の食事まで、食べることにまつわる道具を紹介します。</p> <p>●季節の飾り付け「ひな人形飾り」(2.17～3.8) くにたち郷土文化館と国立市古民家にて、七段飾りのひな人形を展示します。 【URL】https://www.kuzaidan.or.jp/province/</p>						

20	たましん歴史・美術館 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。					
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始(12.28～1.4)	入館料	100円 ※中学生以下無料	☎ 042-574-1360
<p>●コレクション展「東洋古陶磁展 やきもの 超入門編」(11.19～3.12) たましんコレクションの中から中国・朝鮮・日本の古陶磁と工芸品を紹介いたします。三国の歴史と鑑賞の基礎知識をパネルで紹介し、やきものを見る楽しみ方を伝えます。</p> <p>●同時開催 コレクション展「小貫政之助の女たち」(11.19～3.12) たましん美術館(立川)で同時期に開催している「コレクションの異境 小貫政之助展～“永遠の不安”を描く～」と連携し、1960年代以降から晩年の女性像を中心に展示いたします。 ※展示内容、会期は変更となる場合があります。 【URL】https://www.tamashinmuseum.org/</p>						

21	パルテノン多摩 地域まるごと博物館のコアとして多摩市と多摩ニュータウンを自然と歴史の視点で紐解く。					
開館時間	10:00～17:30	休館日	館の休館日に準ずる(月2,3日と年末年始)	入館料	常設展は無料	☎ 042-375-1414
<p>●企画展「多摩ニュータウンと映像記録～フィルム映像が語る多摩～」(11.3～4.2) 多摩市内には、市民や多摩ニュータウン開発を担った組織が撮影した開発前後のくらしや催し物などに関する映像が、8ミリフィルムなどのフィルム映像で残されています。本展では、映像から地域の移り変わりを振り返り、地域の記憶としての映像の可能性を考えます。</p> <p>●クラウドファンディング企画「航空斜め写真を撮影し街の姿を未来にのこそう！」(募集期間12.20～1.31) 再生の時期を迎えた多摩ニュータウンと多摩市域の航空斜め写真を撮影して未来に残すプロジェクトです。是非ご参加ください！</p> <p>●廊下展示・市民学芸員企画「多摩市のアートを見てみよう」(11.21～2.18) 市民学芸員が調査した多摩市内のパブリックアートを写真で紹介いたします。</p> <p>●古文書から歴史を読む【多摩地域編】オンライン受講枠あり(2.10、2.17、3.5、3.10)、講師：岩橋清美氏、募集期間：12.5～12.23</p> <p>●みんなの植物観察会「早春の里山」(3.14) 募集期間：2023.1.30～2.13 詳細はパルテノン多摩HPをご覧ください。 【URL】https://www.parthenon.or.jp/ 【Twitter】http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】https://www.facebook.com/25thparthenon</p>						